



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
コード番号 4365 URL <https://www.mtmtys.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,160	2.6	4,523	5.1	5,958	4.7	4,196	4.4
2023年3月期第2四半期	20,630	18.1	4,306	70.3	6,252	103.9	4,391	100.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,658百万円 (28.0%) 2023年3月期第2四半期 4,421百万円 (71.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	1,446.37	
2023年3月期第2四半期	1,357.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	85,393	71,103	81.0
2023年3月期	79,190	66,470	81.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 69,152百万円 2023年3月期 64,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		350.00	350.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				350.00	350.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,550	0.2	7,000	10.0	7,100	25.0	4,900	32.4	1,688.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,512,651 株	2023年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,611,127 株	2023年3月期	1,610,915 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,901,641 株	2023年3月期2Q	3,235,462 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に変更され行動制限が緩和されたことにより、消費活動の活発化やインバウンド需要の急回復などが見られ、経済活動が緩やかながら回復基調で推移いたしました。一方で世界的な物価上昇に伴う金融引締め等の影響による円安の進行、原材料価格の高騰、高まる地政学リスクの長期化等、景気の先行きが見通しにくい状況であります。

当社グループとしましては、世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、当期より台湾の子会社の業績を組み込んだことに伴い売上高21,160百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益4,523百万円(前年同四半期比5.1%増)、為替差益を1,043百万円計上したものの前年同四半期と比較して減少したことにより経常利益5,958百万円(前年同四半期比4.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,196百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。ただし、「アジア」セグメントは、実務上前期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。

① 日本

日本における当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は19,846百万円(前年同四半期比1.8%減)、セグメント利益(営業利益)は4,387百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調で、国内繊維分野における自動車内装材及びユニホーム分野で回復が見られましたが十分な回復には至っておらず、外部顧客に対する売上高は1,764百万円(前年同四半期比7.0%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調でしたが、国内繊維分野においては昨年好調であったスポーツ関連向けは縮小に転じ、カジュアル衣料向けも引き続き低調でした。国内非繊維分野は物価高による生活雑貨類の消費抑制等の影響もあり前年同期を下回る販売となり、外部顧客に対する売上高は12,285百万円(前年同四半期比0.8%減)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野につきましては、国内でのシャンプー・家庭用洗剤向けは好調に推移しましたが海外向けは低調となり、外部顧客に対する売上高は412百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、国内繊維分野では産地・用途により浮き沈みがあるもののスポーツ関連の落ち込みで減少しました。非繊維工業関連では自動車メーカーの生産回復に伴い自動車部品向けの出荷は回復基調となりましたが、欧州の景気悪化、半導体市場減速の影響を受け需要が縮小した用途もあり、結果として前年同期を下回る販売となり、外部顧客に対する売上高は5,383百万円(前年同四半期比2.1%減)となりました。

② アジア

アジアにおける当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は1,314百万円、セグメント利益(営業利益)は137百万円となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は3百万円となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は262百万円となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は6百万円となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は1,042百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比6,203百万円（7.8%）増加して、85,393百万円となりました。流動資産は前期末比3,769百万円（6.1%）増加の65,556百万円、固定資産は前期末比2,434百万円（14.0%）増加の19,837百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、有価証券が4,998百万円前期末より減少した一方、その他が5,766百万円、受取手形及び売掛金が1,867百万円、現金及び預金が968百万円増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、投資有価証券が1,995百万円、建設仮勘定が186百万円、建物及び構築物が140百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比1,570百万円（12.3%）増加の14,290百万円となりました。流動負債は、前期末比994百万円（9.1%）増加の11,917百万円、固定負債は前期末比575百万円（32.1%）増加の2,372百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、賞与引当金が213百万円前期末より減少した一方、その他が664百万円、買掛金が583百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が559百万円前期末より増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比4,633百万円（7.0%）増加して71,103百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が当四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により4,196百万円増加した一方、配当金の支払により1,015百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金が1,118百万円前期末より増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の81.7%から81.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、13,326百万円減少（前年同四半期は2,981百万円の増加）し、32,551百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,026百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同四半期は2,318百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益5,956百万円、仕入債務の増加額545百万円、減価償却費473百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加1,893百万円、法人税等の支払額1,691百万円、為替差損益889百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは15,373百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同四半期は136百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入510百万円、投資有価証券の償還による収入151百万円であり、支出の主な内訳は、有価証券の取得による支出15,000百万円、定期預金の預入による支出510百万円、投資有価証券の取得による支出320百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,001百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同四半期は1,134百万円の減少）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額990百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、現時点において2023年8月10日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,882	26,851
受取手形及び売掛金	9,069	10,937
電子記録債権	249	335
有価証券	20,000	15,001
商品及び製品	3,419	3,331
仕掛品	723	884
原材料及び貯蔵品	1,726	1,734
その他	733	6,499
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	61,787	65,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,889	9,156
減価償却累計額	△6,234	△6,360
建物及び構築物（純額）	2,655	2,796
機械装置及び運搬具	15,304	15,649
減価償却累計額	△12,692	△13,011
機械装置及び運搬具（純額）	2,612	2,637
土地	1,619	1,646
建設仮勘定	97	284
その他	1,519	1,543
減価償却累計額	△1,343	△1,349
その他（純額）	175	193
有形固定資産合計	7,160	7,557
無形固定資産		
その他	24	19
無形固定資産合計	24	19
投資その他の資産		
投資有価証券	9,279	11,275
繰延税金資産	9	10
その他	932	977
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	10,218	12,259
固定資産合計	17,402	19,837
資産合計	79,190	85,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,547	8,130
未払法人税等	1,753	1,713
賞与引当金	337	124
その他	1,284	1,949
流動負債合計	10,922	11,917
固定負債		
退職給付に係る負債	1,064	1,081
資産除去債務	118	119
繰延税金負債	530	1,090
その他	82	80
固定負債合計	1,796	2,372
負債合計	12,719	14,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	62,164	65,345
自己株式	△12,126	△12,129
株主資本合計	62,646	65,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,261	3,380
為替換算調整勘定	△194	△34
退職給付に係る調整累計額	△20	△18
その他の包括利益累計額合計	2,046	3,327
非支配株主持分	1,776	1,951
純資産合計	66,470	71,103
負債純資産合計	79,190	85,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,630	21,160
売上原価	14,200	14,546
売上総利益	6,430	6,614
販売費及び一般管理費	2,123	2,090
営業利益	4,306	4,523
営業外収益		
受取利息	2	8
受取配当金	91	118
持分法による投資利益	19	78
為替差益	1,599	1,043
その他	237	205
営業外収益合計	1,949	1,454
営業外費用		
支払利息	0	1
支払手数料	2	2
デリバティブ評価損	-	11
その他	1	3
営業外費用合計	3	19
経常利益	6,252	5,958
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	9	1
棚卸資産廃棄損	22	-
特別損失合計	32	1
税金等調整前四半期純利益	6,219	5,956
法人税、住民税及び事業税	1,772	1,643
法人税等調整額	47	65
法人税等合計	1,820	1,708
四半期純利益	4,398	4,247
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,391	4,196

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,398	4,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	1,118
為替換算調整勘定	60	290
退職給付に係る調整額	△13	1
持分法適用会社に対する持分相当額	92	0
その他の包括利益合計	22	1,410
四半期包括利益	4,421	5,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,392	5,477
非支配株主に係る四半期包括利益	28	181

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,219	5,956
減価償却費	465	473
受取利息及び受取配当金	△94	△126
支払利息	0	1
為替差損益(△は益)	△1,658	△889
持分法による投資損益(△は益)	3	△85
売上債権の増減額(△は増加)	546	△1,893
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,259	△24
仕入債務の増減額(△は減少)	24	545
賞与引当金の増減額(△は減少)	△206	△213
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	14
固定資産除売却損益(△は益)	9	1
その他の営業外損益(△は益)	△178	△129
未収消費税等の増減額(△は増加)	44	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	58	△38
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△105	△56
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△13	56
有価証券償還損益(△は益)	-	1
小計	3,844	3,593
利息及び配当金の受取額	98	126
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△1,623	△1,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,318	2,026

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△155	△201
有形固定資産の売却による収入	0	-
有価証券の取得による支出	-	△15,000
投資有価証券の取得による支出	△7	△320
投資有価証券の償還による収入	322	151
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
定期預金の預入による支出	△510	△510
定期預金の払戻による収入	510	510
長期貸付けによる支出	-	△0
保険積立金の積立による支出	△32	△26
保険積立金の解約による収入	27	20
その他	△17	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	136	△15,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△1,131	△990
非支配株主への配当金の支払額	-	△6
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,134	△1,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,660	1,021
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,981	△13,326
現金及び現金同等物の期首残高	44,873	45,877
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,855	32,551

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	1,896	4	1,901
非イオン界面活性剤	12,387	269	12,656
陽・両性イオン界面活性剤	423	3	426
高分子・無機製品等	5,501	144	5,646
顧客との契約から生じる収益	20,208	422	20,630
外部顧客への売上高	20,208	422	20,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	213	16	230
計	20,422	438	20,860
セグメント利益	4,304	28	4,333

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,333
棚卸資産の調整額	△27
四半期連結損益計算書の営業利益	4,306

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	アジア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	1,764	3	1,767
非イオン界面活性剤	12,285	262	12,548
陽・両性イオン界面活性剤	412	6	418
高分子・無機製品等	5,383	1,042	6,425
顧客との契約から生じる収益	19,846	1,314	21,160
外部顧客への売上高	19,846	1,314	21,160
セグメント間の内部売上高 又は振替高	193	15	208
計	20,039	1,329	21,369
セグメント利益	4,387	137	4,525

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,525
棚卸資産の調整額等	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	4,523

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「日本」「インドネシア」の区分から、「日本」「アジア」の区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結累計期間の報告セグメントを、それぞれの比較対象となる期間と同条件で作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。